カナダ林業関係者視察
2×4協会

林産企業で構成するカナダ林産業審議会（COFI）のメンバーが、十勝2×4協会（赤坂正会長）との交流を目的に十勝を訪れた。協会加盟社の建築現場など、管内8カ所の現場を見学した。

COFIは同協会と過去40年以上にわたって技術交流などを続けている。1月には昨年の台風で被害を受けた同協会員の外城建設（清水）をCOFI日本事務所のショーン・ローラー代表らが見舞いに訪れるなど親交が深い。今回は、2×4工法のシェアが新築戸建てで6割以上と高い十勝の建築様式を見学するため、COFIバンクーバー事務所のポール・J・ニューマンカナダウッドグループ代表、ローラー代表ら5人が11月20日に来勝した。

岡本建設（幕別）の現場では、2×6仕様の付加断熱材を使用した高性能住宅の内部を見学。初めて十勝を訪れたニューマン代表は「十勝はアルバータ州と気候が似ている。家のサイズはカナダと比べて小さいが、高気密・高断熱で質の良い家造りをしていることが分かる」と話していた。

十勝2×4協会も来年の設立40周年を記念し、2月ごろにカナダへの訪問を予定している。（中島佑斗）

建築現場を視察するカナダ林産業審議会のメンバーら。左から2人目がニューマン代表、同3人目がローラー代表